

医仁会武田総合病院職員の

新型コロナウイルス感染者の発生について(第4報)

令和2年8月15日
医仁会武田総合病院
院長 三森 経世

8月11日(火)夕刻に当院職員(20代病棟勤務女性看護師)がコロナウィルスに感染していることが判明したことに伴い、濃厚接触者職員9名(現在、自宅待機中)を含む24名の職員、及び当該病棟の入院患者様26名の計50名について、PCR検査を実施した結果、8月13日(水)、当該病棟入院患者様2名及び当該病棟職員(看護補助者)1名の計3名が陽性と判明しました。

8月14日(金)、上記入院患者様2名の濃厚接触者1名及び、念のために当該病棟に出入りのあった職員46名、合計47名についてPCR検査を実施しました。その結果、8月15日(土)に47名全員について陰性との結果を得ました。また、上記看護補助者1名の濃厚接触者については4名が判明し、症状は無く、現在自宅待機としております。

以上の状況より、当院としては当該病棟を超える感染の拡大はないものと考えています。

上記経緯をふまえ、当該病棟以外の入院患者様については8月17日(月)より、外来患者様については8月18日(火)よりリハビリテーションを再開することとします。

ただし、当該病棟については、引き続き新規入棟の受入中止、リハビリテーションの中止、また12名の職員について自宅待機を継続しています。

診療面でご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。当院は引き続き感染拡大防止に全力で努めてまいります。